

神山小学校グランドデザイン

2024年(令和6年)4月



阿賀野市の教育「ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育」

自立...主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力
協働...多様な人々と対話し、問題を解決する力
創造...新しい価値を生み出す力

学校経営方針

◆ 関わるすべての人が、安心して自分らしさを発揮する学校

—ともに学び、ともに楽しみ、ともに高まる—

【子ども】自分・まわりの人のよさに着目し、自己肯定感を高める

【教師】自分の強みを生かし、互いに尊重し合い、学び合う教師集団をめざす

【学校】地域の特色を生かし、地域に開かれ、地域とともに学び楽しむ学校づくり

教育目標

明るく 思いやりのある 子ども

よく考え かいっぱい楽しむ 子ども

進んで 自分をきたえる 子ども

確かな学力の向上

豊かな心の育成

体力と健康の向上

地域との協力連携

【これまでの成果】

- ・ 落ち着いて学習に取り組む子どもの増加
- ・ 進んで家庭学習をする子どもの増加
- ・ 異学年間の「遊び・交流」の増加
- ・ 地域の人にもあいさつできる子どもの増加
- ・ いじめ見逃しゼロ
- ・ 早期発見・早期対応
- ・ 不登校予防と対応

育てたい子ども像

【知】 関わりの中で考えを深める力を育成する。～根拠を明らかにして説明する児童の姿を目指して～

【徳】 自分や友達よさに気付き、相手の立場や気持ちを尊重しようとする態度や実践力を育成する。

【体】 めあてをもって進んで体力や生活習慣を向上・改善しようとする意欲や態度を育成する。

- ① 地域と連携した教育 (神山っ子を育む会との連携)
- ② 児童の安全確保 (登下校安全・不審者対策)

そのための取組

- ① 基礎的な学力が身に付くよう、神小タイム、ワークテストを活用する。
- ② 主体的・対話的で深い学びに向けて、日々の授業改善に努める。
- ③ 神小テスト (Web テスト) を活用し、思考力・活用力を高める。
- ④ 読書活動の充実を図る。
- ⑤ 家庭と連携した、学習習慣の定着を図る。

- ① 「関わり合う力」が高まるよう、異学年交流や学校行事、児童会活動を充実させる。(いなほ班活動、全校登山など)
- ② あいさつ運動を実施する。(児童会によるあいさつ運動、小中連携あいさつ運動など)
- ③ 特別な教科「道徳」の授業の追究をする。

- ① 体育の授業で、単元や領域に関わる準備運動を、授業の80%以上取り入れ、多様な動きを経験させる。
- ② 体力テスト前に、いなほ班ごとに各種目を体験し、体力や技能の向上を目指す。
- ③ 家庭と連携し、家庭学習カードを活用して、児童が自身の行動予定に合った適切な目標睡眠時刻を設定できるようにする。

神山っ子を育む会
(地域と学校の連携を推進する会)
令和3年度よりスタート

学校教育課題

- 《長期的課題》
生きる力を育む
周りに関わりながら自己肯定感を高める
- 《中期的課題》
- ① 確かな学力の向上 (思考力・表現力)
 - ② 豊かな心の育成 (規範意識・思いやり)
 - ③ 体力と健康の向上 (メディアコントロール)

目指す成果

- 教科 総合 ICT
- 国語・算数のワークテストで目標得点を達成できる児童を、学級で80%以上にする。
 - 「関わりの中で考えを深める姿」に関する児童アンケートと教師の見取りで、肯定的評価を全校の80%以上にする。

- 道徳 生徒指導 特活
- 「関わり合い」に関する児童アンケートと教師の見取りで肯定的評価をする児童を85%以上にする。
 - 「他者を認める」に関する児童アンケートと教師の見取りで肯定的評価をする児童を85%以上にする。

- 体育 生活習慣の改善
- 体育の学習や体を動かすことが好きな児童の割合を、90%以上にする。
 - 保護者アンケートにおいて、「目標睡眠時刻を守れている児童の割合」の肯定的評価を80%以上にする。

- 神山っ子を育む会 (学校運営協議部) による学校関係者評価
- 神山っ子を育む会と連携した子育て支援活動
- 主体的なPTA活動
- 学習支援ボランティア活動
- 保・小・中による行動連携
- スクールガードとの連携
- 地域ながらパトロール活動

神山小学校で日々育ていく
資質・能力

受け入れる
話を聴く 違いが分かる
相手を認める

考える力
自分事として捉える
振り返って改善する

判断する力
正しいことが分かる
(規範意識)

表現する力
反応する あいさつ
分かるように伝える

実践する力
行動に移す
やりぬく

中学校区各校との協力・連携

ゆるやかな一貫教育

- 中学校教師による出前授業
- 生徒指導・学力向上に関する情報共有
- 笹小・笹中 (小小・小中) との合同活動

家庭との協力・連携

ともに学び
ともに楽しみ
ともに高まる

- 子どものよさに目を向けながら、育てたい子ども像を共有する。
- 子どもとともに過ごし、話に耳を傾け、小さな変化に気付く。
- 手伝いや一人ではできないことは自分でさせ、子どもの自己有用感や主体性を伸ばす。
- 家庭からの協力を得ながら子どもたちの安全を守る。

【保護者の願い】

- ・ 思いやりのある子
- ・ あいさつができる子
- ・ 善悪の判断ができる子
- ・ 粘り強く取り組む子
- ・ 明るくはきはき話せる子



神山小のマスコットキャラクター
「新潟ねこちゃん」